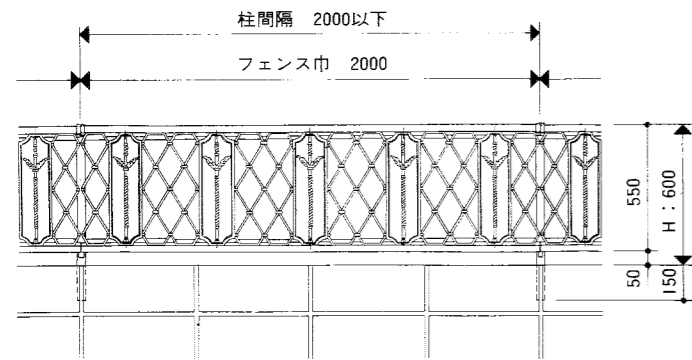


※裏面に③自在脚式の場合があります。

〔改1〕

1 自在柱式の場合

■納まり図



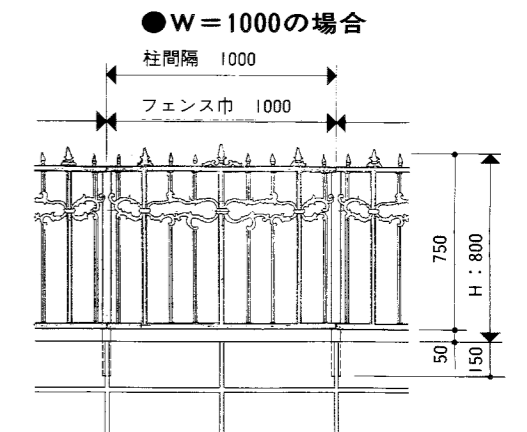
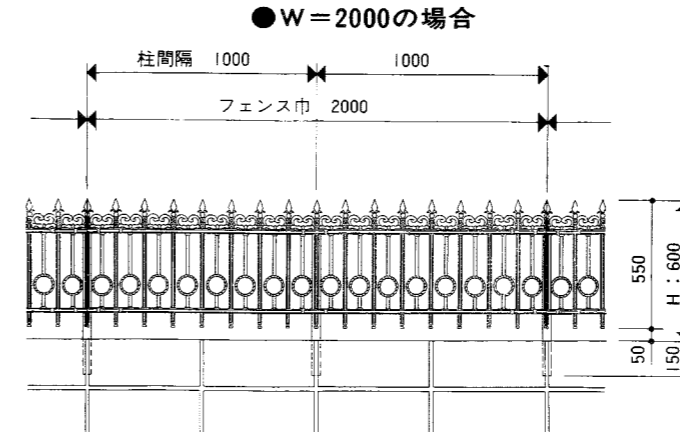
■注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ③モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

2 可動柱式の場合

■納まり図



■取付け方法

●一般部

- ①柱を2000mm以内の間隔で、ブロック穴に建て込んでください。(その場合、柱はフェンス本体連結部から300mm以内になるように建て込んでください。)
- ②フェンス本体を連結部品で連結しながら受金具に乗せ、固定金具で柱とフェンス本体を固定してください。
- ③フェンスを組立てた後、フェンスの通りを確認し、柱をモルタルで固定してください。

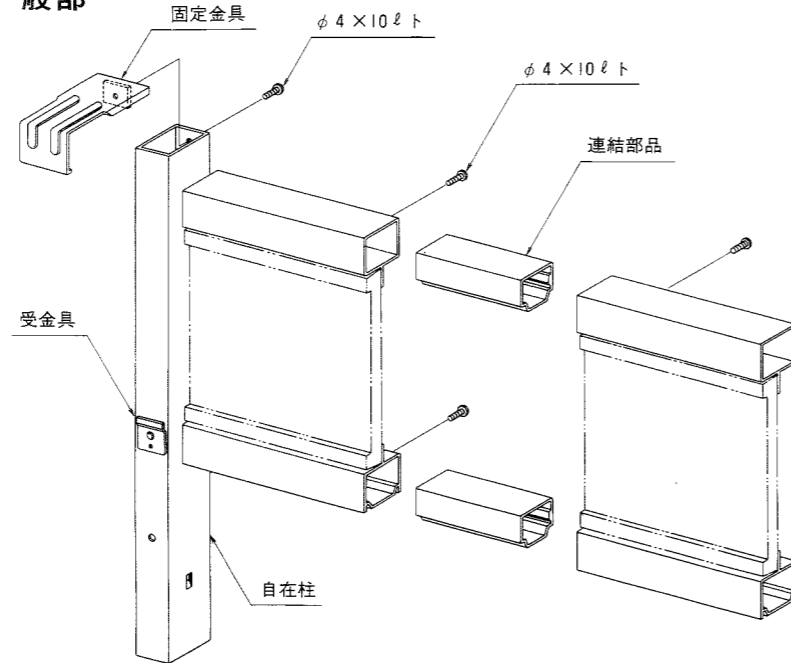
●コーナー部

コーナー部は柱2本建てとし、コーナーヒンジを取付けてください。

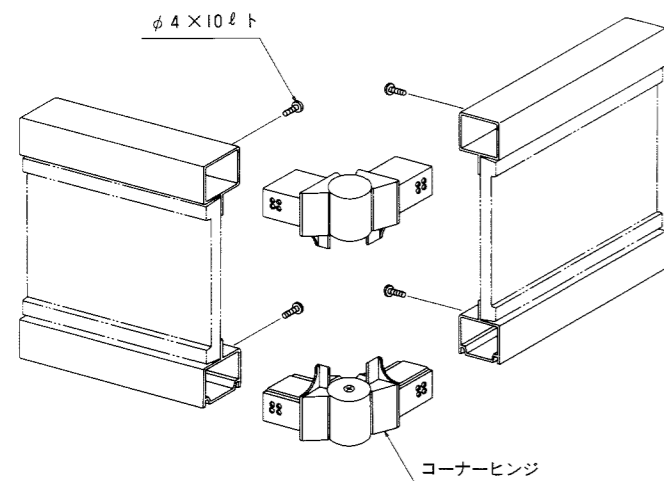
●エンド部

フェンス端部は、エンドキャップを取付けてください。

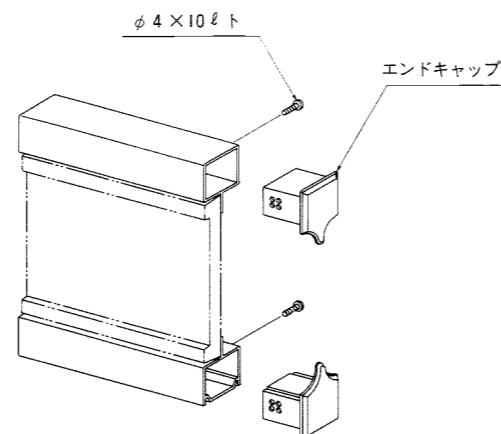
●一般部



●コーナー部



●エンド部



■取付け方法

●一般部 (連結部・中間部)

- ①柱を1000mmの間隔でブロック穴に建て込んでください。(その場合、柱はフェンス本体連結部から60mm以内になるように、又フェンスのサイズがW=2000mmの場合はさらに中心から60mm以内になるように建て込んでください。)
- ②フェンス本体を可動柱ブラケットで上下共連結してから受金具に乗せ、固定金具で柱と可動柱ブラケットを固定してください。(フェンスのサイズがW=2000mmの場合は、フェンスの中間にも上下に可動柱ブラケットを取付け、必ず柱を建ててください。)
- ③フェンスを組立てた後、フェンスの通りを確認し、柱をモルタルで固定してください。

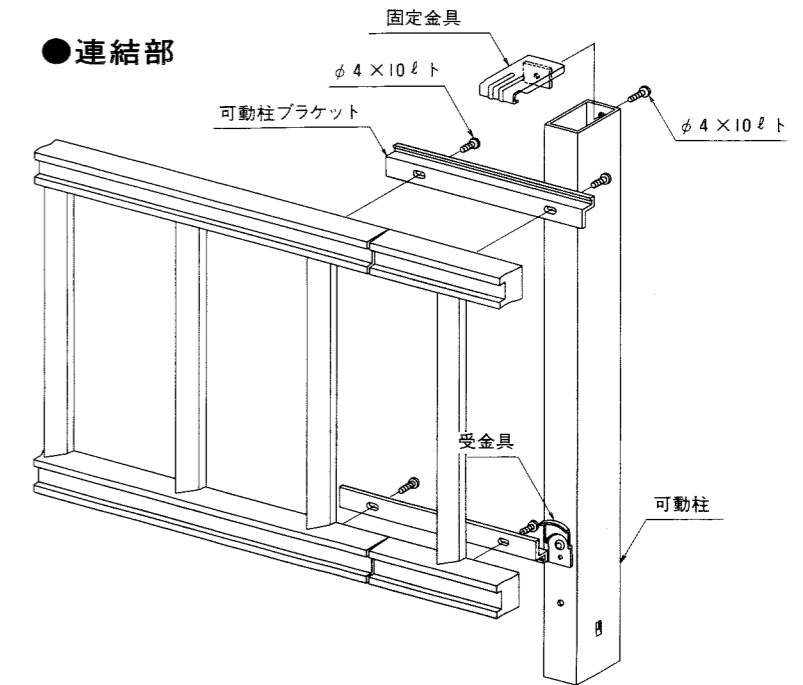
●エンド部

エンド部はフェンス端部から100mm(±60mm)となる位置に柱を建て込み、一般部と同じように施工してください。

●コーナー部

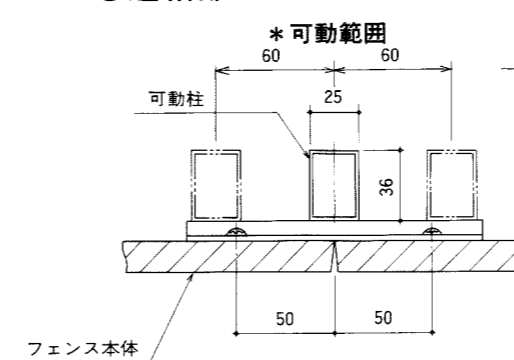
コーナー部は柱2本建てとし、エンド部と同じように施工してください。

●連結部

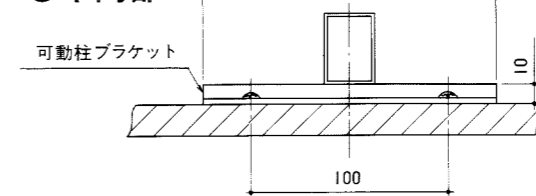


■可動柱ブラケット取付位置

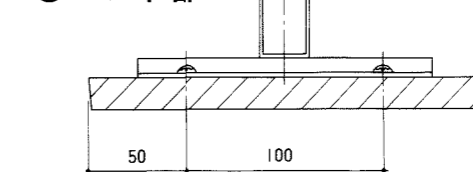
●連結部



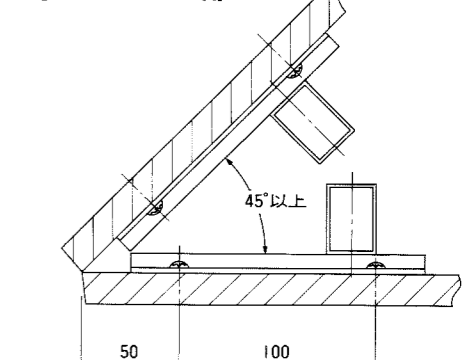
●中間部



●エンド部

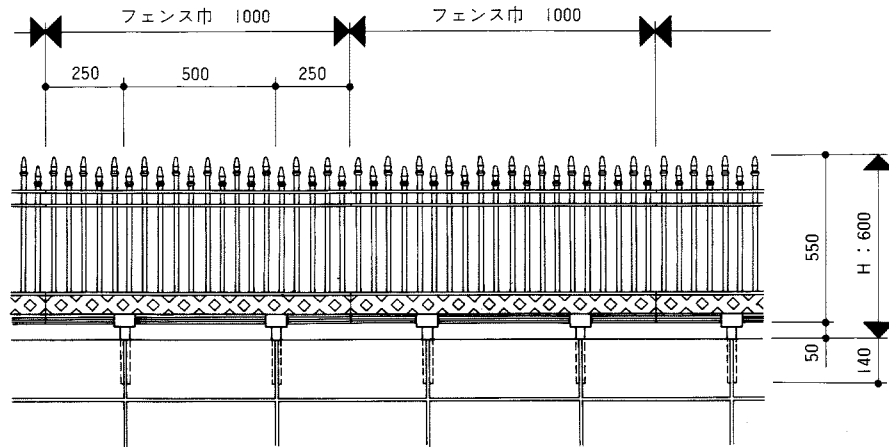


●コーナー部



③ 自在脚式の場合

■ 納まり図



■ 取付け方法

- ① フェンス取付脚を 500mmの間隔でブロック穴に建て込んで下さい。
- ② フェンス本体をフェンス取付脚に乗せ、 $\phi 8 \times 16$ 六角ボルトで固定して下さい。
- ③ ストレート継手で連結部を固定して下さい。
- ④ フェンスを組立てた後、フェンスの通りを確認し、フェンス取付脚をモルタルで固定して下さい。

